

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(7)-ア	計画的な生活基盤の整備	施策	①上水道の計画的な整備、水道広域化の推進と水の安定供給
			施策の小項目名	○水道施設の整備や長寿命化対策、耐震化等の減災対策
主な取組	水道施設の整備		対応する成果指標	基幹管路の耐震適合率
施策の方向	<p>・今後の水需要や水質の安全性を確保するため、水道施設の整備や老朽化した施設の計画的な更新等による長寿命化対策に取り組みます。また、本県の水道施設は復帰前に整備された耐震性の低い施設や、海岸近くに整備された施設も多いことから、施設の計画的な更新に併せて耐震化等の減災対策に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
<p>島嶼県である本県において上水道施設が地震等により被災した場合、他府県からの支援等が困難であり、広範囲かつ長期にわたっての断水が危惧されることから、耐震化を推進する。また、これまで整備してきた施設が、大量に更新時期を迎えることから、老朽化施設対策のため、計画的な改良、更新を行う。</p>	県	企業局が管理する水道施設の整備・更新・耐震化			
		基幹管路の整備延長(累計)			
		2.8km	3.8km(6.6km)	3.4km(10.0km)	
担当部課【連絡先】	企業局総務企画課		【 098-866-2803 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄水道水源開発等施設整備事業			予算事業名	沖縄水道水源開発等施設整備事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ハード)	直接実施	5,903,097	6,932,360	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ハード)	直接実施	5,475,074
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
名護浄水場整備（場内配管布設工事等）、北谷浄水場整備（薬品注入設備工事等）、石川～上間送水管布設工事等を実施した。				名護浄水場整備（排水池工事等）、北谷浄水場整備（薬品注入設備工事等）、石川～上間送水管布設工事等を実施する。		

活動指標名	基幹管路の整備延長（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	4.1km	2.8km	100.0%	順調	名護浄水場整備（場内配管布設工事等）、北谷浄水場整備（薬品注入設備工事等）、石川～上間送水管布設工事等を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

基幹管路の整備延長は、令和5年度目標値に対して実績値は上回ったが、水道施設全体としては、減災対策および老朽化施設対策のための整備が遅れている状況であるため、安全で低廉な水道用水を将来にわたって安定的に供給するために計画的な施設整備を推進する必要がある。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
名護浄水場等において、老朽化施設の改良、更新を進めているところであるが、次年度も、引き続きアセットマネジメント（資産管理）の手法を取り入れ、北谷浄水場薬品注入設備工事等や石川～上間送水管工事など老朽化施設の計画的な更新に取り組む、併せて耐震化を進める。	アセットマネジメント（資産管理）の手法を活用したうえで老朽化施設の計画的な更新に取り組むとともに、施設の保全、点検を適切に行うことで施設の状態を把握し、優先順位をつけて施設整備計画に反映させた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	本土復帰後、年々増大する水需要に早急に対処するため、水道施設の整備を早急に進めてきた。これらの水道施設の経年化が進み大量に更新時期を迎えるため、計画的な施設の更新が必要である。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	島嶼県である本県において、上水道施設が地震等により被災した場合、他府県からの支援等が困難であり、広範囲かつ長期にわたる断水の発生が予測されることから、水道施設の耐震化等が必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	老朽化施設の改良、更新を進めているところであるが、次年度も引き続きアセットマネジメント (資産管理) の手法を取り入れ、老朽化施設の計画的な更新に取り組み、併せて耐震化を進める。